

# 外来診療の案内

令和5年7月改定

院長（兼）総合診療科部長（兼）地域医療連携室長（兼）医療安全管理室長 田中 修也

事務長 久永 勇一 総看護師長 寺師 真理子

〔診療科部長〕 呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 小児科部長 水流 尚志 脳神経内科部長 有村 仁志

第一循環器内科部長 吉野 聡史

第二循環器内科部長 藺田 剛嗣

診療科	月	火	水	木	金
内科（午前）	末永 勝士	日高 将気	吉嶺 光太郎	日高 将気	吉嶺 光太郎
	リウマチ・ 膠原病外来（終日）			駿河 幸男	
	糖尿病外来（終日）		福重 恵利子		
	肝臓外来（終日）		長谷川 将 （第2、4週）		
生活習慣病 予防健診・ドック		宇都 寛高		吉嶺 光太郎	
呼吸器内科（午前）	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也
	中塩屋 二郎	中塩屋 二郎		宇都 寛高	中塩屋 二郎
呼吸器外科（午前）		青木 雅也			
循環器内科（終日）	吉野 聡史		吉野 聡史		吉野 聡史
	藺田 剛嗣			藺田 剛嗣	
		内門 義博			内門 義博
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来	脳ドック	
脳神経外科					鹿大応援医師 （第2、4週）
小児科	午前	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志
		今塩屋 聡伸	今塩屋 聡伸	今塩屋 聡伸	今塩屋 聡伸
	午後	初診・再診受付 14時～16時		健診・予防接種 13時30分～15時	初診・再診受付14時～16時
			初診・再診受付 15時～16時		心エコー検査 応援医師（第4週）
放射線科（読影のみ）		応援医師（終日）			応援医師（午前）
腹部エコー	午前		検査室	検査室	検査室
心エコー		内門 義博	吉野 聡史	藺田（第1・3・5週） 内門（第2・4週）	吉野 聡史
頸部エコー				放射線部（午後） 脳ドック	有村 仁志（午後） 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ
内視鏡	午前/上部消化管		末永 勝士		軸屋 賢一
	午後/下部消化管		重田浩一朗 脇黒 薫		軸屋 賢一
気管支鏡	午後			呼吸器内科医師	
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日

## 鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

TEL：0995-22-8511 FAX：0995-22-6785

0995-22-9397（地域医療連携室）

Mail：hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制となっています。待ち時間短縮のため、電話での予約をお願いします。  
○電話予約：午後2～5時まで

# さざんか

～県立北薩病院だより～

7月号  
No.211

今号から、院内の各部署や働いている職種の紹介を始めます。  
第1回は「診療放射線技師」についてご紹介いたします。

## 診療放射線技師について

診療放射線技師は、病院や診療所などの医療機関で、医師の指示のもとで放射線による検査やがんなどの治療を行います。

検査で撮影した画像情報は、病気の早期発見や、医師が行う病気の診断や、治療の方針の決定につながります。また、精度の高い画像情報を提供するために、使用する検査機器や画像システムの操作や画像処理の技術、身体の構造や疾患など幅広い医学の知識も必要です。

## 主な仕事内容（県立北薩病院の場合）

### □ 各種画像診断検査

#### ・ X線検査

体の中を通り抜ける性質があるX線を使って、患部を画像化する検査で、心臓や肺、骨、胸などの検査に利用されます。

#### ・ CT検査

X線を使って、体を輪切りにした映像や、内臓などの3D（立体的な）画像を撮影する検査。胸部や腹部、頭部など、全身の検査で使用します。

#### ・ MRI検査

放射線を使用せず、強力な磁石と電波を使って、体のあらゆる方向の断面を撮影し、体内の状態を見る検査です。

#### ・ 超音波検査

放射線を使用せず、人には聞こえない音波（超音波）を体に当てて戻ってくる反射波（エコー）によって体内の状態を見る検査です。

### □ 核医学検査

調べたい臓器や病気に集まる性質をもつ放射線医薬品を投与して、体内から出てくる放射線から、臓器の位置、形態・大きさや機能を調べる検査です。

### □ 医用画像処理

さまざまな画像処理技術を駆使し、撮影した画像の処理を行い、医師が診断や治療をしやすいよう、患部が鮮明に見えるようにしたり、内臓と骨を分離させて見やすくしたりします。

### □ 放射線管理

自然界にも存在する放射線は、一定量を超えると体に何らかの影響を与えます。画像診断検査では、診断が可能な範囲で最低限の放射線量に抑えるなど、放射線による障害や事故を防止するため、安全管理を行います。

## やりがいについて

病院では診療放射線技師だけでなく、医師や看護師をはじめとする様々な職種のスタッフが各々の専門性を発揮し、連携して患者さんの治療を行っていきます。そのなかで自分自身の持つ知識や技術を生かして患者さんに最善の医療を提供することにやりがいを感じます。



## 心臓カテーテル検査・治療はじめました



### ○ 心臓カテーテル検査について

細いプラスチック製の管（カテーテル）を動脈または静脈内に挿入し、心臓に到達させ、心内圧を測定したり、冠動脈（心臓の筋肉に血液を送っている血管）や心臓の血圧・血流速度・方向・脈拍数などの血行動態を調べるためにレントゲンを用いて行う検査です。

### ○ 心臓カテーテル検査でなにがわかる？

カテーテルを足の付け根や腕、手首の動静脈から挿入し、血管の中を通過して先端を心臓まで到達させ、心臓の動きや病気の種類・重症度を詳しく調べます。例えば、心不全・心臓弁膜症などでは、心臓の圧や血液の流れを調べます。

### ○ 心臓カテーテル検査・治療の入院期間は？

心臓カテーテル検査のみの場合、2泊3日、心臓カテーテル治療の場合、3泊4日の入院期間となります。  
心筋症や心筋梗塞などの緊急入院や緊急心臓カテーテル治療となると2～4週間ほどの入院期間となります。

### ○ 主な心臓疾患について

狭心症：心臓の筋肉に血液（酸素や栄養）を送る冠動脈と呼ばれる血管が狭くなり、心臓の筋肉が酸素不足に陥り、胸の痛みや圧迫感を引き起こす病気。

#### □ 主な症状

- ・ 締め付けられるような胸の痛み（胸の中央からみぞおちあたり）
- ・ 胸の圧迫感
- ・ 息苦しさ
- ・ 上記の症状が10分以上続く



### ○ お問い合わせ先

県立北薩病院（伊佐市大口宮人502-4）

☎ 0995-22-8511

循環器内科へお問い合わせください。

### ○ 心臓カテーテル治療について

レントゲンで体の中を透かして視ながら、カテーテルを用いて行う心臓治療の総称です。

全身麻酔で行う外科的手術に比べて、身体への負担が少なく、入院期間を短くできるのが特徴です。この数年の医療の進歩により、多くの心臓疾患が治療できるようになりました。

心臓カテーテル治療には、経皮的冠動脈形成手術（PCI）、カテーテルアペレーション、ペースメーカー埋め込み術、埋め込み型除細動器などがあります。狭心症や心筋梗塞など、動脈硬化や血栓で血管が狭くなる疾患に対して、カテーテルを挿入し血管を押し広げる経皮的冠動脈形成術（PCI）を行い、血流の改善を図ります。

### ○ 検査・治療って痛いの？

検査・治療では、局所麻酔を行ってから、カテーテルを導入しますので、ほとんど痛みは感じません。また、カテーテルが血管や心臓の中を通過しても痛くありません。



心筋梗塞：冠動脈が完全に塞がったり、急速に狭くなったりすることで、心臓に血液（酸素や栄養）が届かなくなることで、心臓の筋肉細胞の機能が低下してしまう病気。吐き気や冷や汗、呼吸が苦しくなり意識を失う場合もある。

#### □ 主な症状

- ・ 胸の広範囲に圧迫感や強烈な痛みがある
- ・ 冷や汗
- ・ 吐き気
- ・ 呼吸が苦しい
- ・ 上記の症状が30分以上続く

